

情報公開文書

研究課題名	小児複雑性虫垂炎腹腔鏡手術における幼児と学童との臨床像の違い
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	当 院 所 属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原 修一郎</u>
研究期間	(西暦) 承認日 ～2024 年 4 月
研究の概要	(本研究の意義・目的) 当科では、2000 年 6 月腹腔鏡下虫垂切除術を開始しました。同年 8 月には、虫垂に穴があく穿孔や虫垂周辺などに膿が溜まる膿瘍形成を合併した複雑性虫垂炎にも腹腔鏡下虫垂切除術を開始しました。複雑性虫垂炎患者さんにおいて、腹腔鏡下虫垂切除術を施行した穿孔や膿瘍形成のある小児患者さんについて、6 歳以下の幼児と 7 歳以上の学童において、臨床像がどう異なるかを検討するものです。 (研究方法) 2000 年 6 月から 2022 年 12 月まで約 22 年間のカルテを調べます。複雑性虫垂炎手術症例は 144 例ありました。これを年齢により分けて、7 歳以上の 1 群 106 例と 6 歳以下の 2 群 38 例とに分けて、術前評価と術中・術後の経過を調べて、年齢による違いを解明したいと思います。
試料・情報	カルテデータ
研究対象	2000 年 6 月から 2022 年 12 月までの間に小児外科に入院して虫垂切除の手術を受けたお子さんになります。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原 修一郎</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439